

# IER-A 形 誘導形地絡電圧継電器

Type IER-A Induction Type Ground Voltage Relay



第 1 図  
IER-A 形 誘導形地絡電圧継電器  
(埋込形)

本器は主として、配電線の選択地絡継電器と併用して、一定以上の零相電圧で選択しゃ断させる場合や、また零相電圧が発生したこと自体でしゃ断器を引はずし必要がある場合などに使用される時限付の地絡電圧継電器です。

### 構造と動作

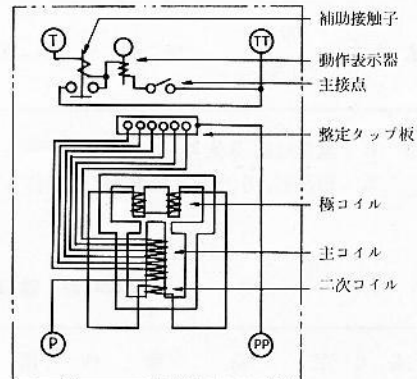
主要部は、変圧器式鉄心に主コイルと極コイルとを相対して巻いた誘導円板形の構造で、反限時性の時限特性をもっています。

本器は、接地変圧器の二次オープンデルタ回路に接続し、平常時には、線路の零相電圧はほとんど零ですが、地絡故障時、零相電圧が現われて、継電器の整定値に達すると、円板は制御スプリングに打ち勝って回転し、一定時限後主接点を閉路します。その動作時間は地絡故障の程度に応じて発生する零相電圧にほぼ反比例しますから、しゃ断器の引はずしに使用される場合には、最適の時限を得ることができます。

接点回路はしゃ断器引はずし用として、補助接触子と動作表示器を備えています。

### 動作電圧値の整定

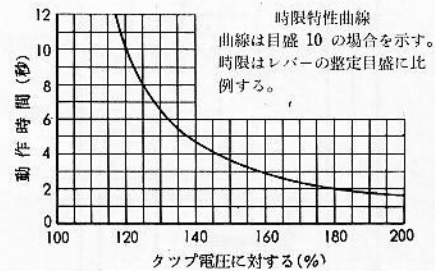
動作電圧値の調整が行なえるよう広範囲のタップを設けています。タップ板には始動電圧値が銘記されており、30—40—50—60—70—80 V の 6 タップを設けています。



第 2 図 内部接続図(裏面)

### 時限の整定

時限調整ができるよう時限レバーと時限目盛板を備えており、目盛板には 0~10 の時限等分目盛が施してあります。動作時間は、このレバーを目盛板に合わせることによって、正確に選ぶことができます。第 3 図の時限曲線はレバー 10 の位置における電圧と動作時間の関係を示します。



第 3 図 時限特性

# IER 形 誘導形地絡電圧継電器

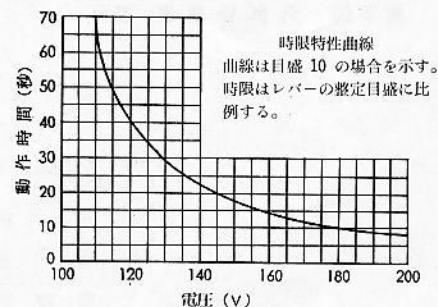
Type IER Induction Type Ground Voltage Relay

本器は、主として、一般配電用の変電所の母線地絡時の保護や、また、配電線選択地絡継電器の後備保護に用いられます。

IER-A 形 とほとんど同じ構造ですが、特に長時限の反限時性を得るために、歯車機構を有し、また用途上動作電圧は 100 V 1 点としています。本器の時限特性を第 4 図に示します。

動作時限は時限レバーと時限目盛板により適当な時限に調整することができます。

接点回路は引はずし用として補助接触子と動作表示器を設けています。



第 4 図 時限特性



日新電機株式会社

本社 京都市右京区梅津高畝町 電話京都(86)3151(大代表)  
工場 京都・前橋 支社 東京・大阪  
営業所 名古屋・仙台 出張所 札幌・富山・広島・高松・八幡・福岡

IER-A形誘導形地絡電圧継電器標準定格表

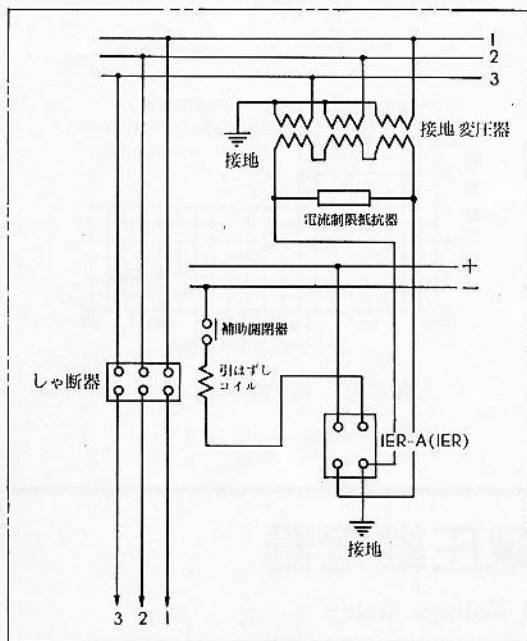
形式	定格	電圧整定範囲	消費電力	補助接触子表示器	周波数	備考
IER-A	190 V 30 Sec	30 - 40 - 50 - 60 - 70 - 80 V	タップ電圧にて 20 VA	1 A または 2 A	50 % または 60 %	埋込形

- (注) 1. 重量は約 3.9 kg です。  
2. 表面形、引出形も標準として製作しております。

IER形誘導形地絡電圧継電器標準定格表

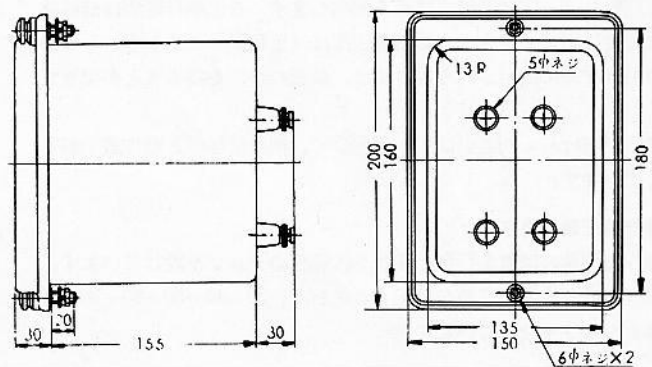
形式	定格	動作電圧	消費電力	補助接触子表示器	周波数	備考
IER	190 V cont	100 V	190 V にて 20 VA	1 A または 2 A	50 % または 60 %	埋込形

外部接続



第5図 外部接続図(裏面)

外部寸法



第6図 IER-A形、IER形継電器外形寸法図(埋込形)

—ご注文に際しては次の事項をご指定下さい—

1. 形状：埋込形、引出形、表面形の別
2. 用途：使用回路および IER-A、IER の別
3. 周波数：50、60への別
4. 制御回路：しゃ断器の定格  
補助接触子 1、2 A の別
5. その他：標準外の仕様がある場合